

● 公益財団法人 日本漢字能力検定協会について

日本語・漢字を学ぶ楽しさを提供し、豊かな社会の実現に貢献

公益財団法人 日本漢字能力検定協会は、内閣府より認定を受けた公益財団法人です。

日本語・漢字に関する「普及啓発・教育支援活動」「調査・研究活動」「日本語能力育成活動」を3つの柱とし、社会生活に必要な日本語・漢字の能力の向上と、広く日本語・漢字に対する尊重の念と認識を高める活動に邁進しています。

普及啓発・教育支援活動

- ・ 博物館・図書館の運営
- ・ 漢字・日本語キュレーション
サイト・検索サイトの運営
- ・ 機関誌の発行
- ・ 講演会・講座の開催
- ・ 漢字文化啓発イベント
- ・ 教材の発行 など



「今年の漢字®」

調査・研究活動

- ・ 漢字文化研究
- ・ 研究論文の顕彰
- ・ 教育研究への助成 など



「漢字ミュージアム」

日本語能力育成活動

- ・ 検定・テストの実施
 - 漢検
 - BJT
 - 文章検



など



「漢字カフェ」

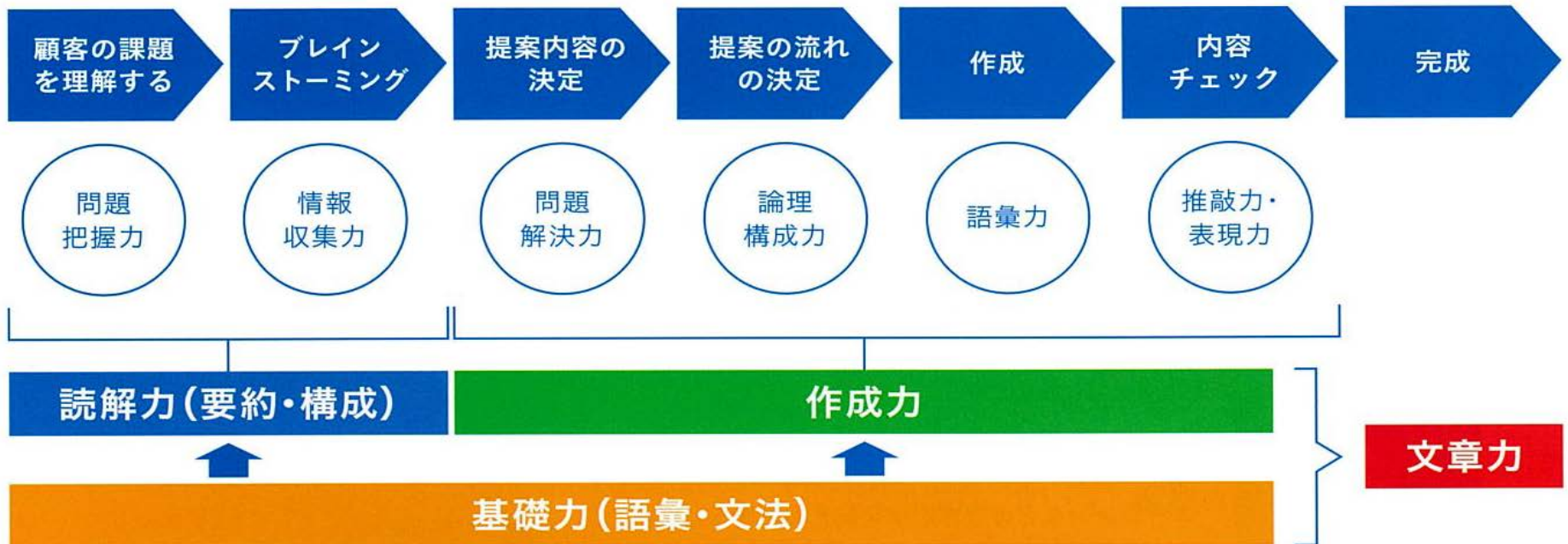
●文章検のコンセプト

文章は相手に自分の思いや考え、あるいは、重要な情報を伝達する手段です。的確に伝えるには、相手や場面を考えて、最も効果的な表現を考える必要があります。

「聞く」ことも「話す」こともコミュニケーションですが、コミュニケーションのトレーニングには文章を書く練習が効果的です。

「文章検」は「文章能力」を「基礎力」「読解力」「作成力」の3つの力に分類し、それぞれの知識・能力を測定します。

【例】提案書を作成する



●文章検・各級の社会人活用例

	対象者例	課題例
2～準2級	営業・管理部門・管理職	社内外に対する論理的な企画書・決裁書が求められる。コミュニケーションの質と効率を高めたい。部下の指導力を高めたい。
3級	支店長・SV・エンジニア	複数の情報をとりまとめて本部などに報告する際、冗長でポイントがわかりにくい。説得力のあるまとまった書面を作成したい。
4級	接客スタッフ・技能工・事務一般職	引き継ぎ・改善案など、短い業務日報を起票するが、起きた事象と主観が混在してわかりにくい。簡潔で正確な報告書を作成したい。

●文章検2級・社会人結果データ

受検者数	合格者数	合格率
1,043	505	48.4%

N=41社（2017年2月～12月）

	文章読解 (input)			文章作成 (output)		合計
	問1	問2 - 1	問2 - 2	問3	問4	
配点	30	10	30	50	80	200
平均点	24.2	9.3	21.9	37.7	40.9	134.1
得点率	80.7%	93.4%	72.9%	75.4%	51.2%	67.0%